

# 第4章 重点的な取り組み

里庄町における男女共同参画の推進に当たり、近年の男女共同参画に関する動向や現状の取り組みを踏まえて、次の3つを重点的に取り組む施策とします。

## 1 DV防止等における取り組み

これまでは、特に女性に対するセクハラ（セクシュアル・ハラスメント）や暴力などの人権侵害が問題視されてきましたが、近年はDV・ハラスメントの形態が多様化し、性別関係なく被害に遭う可能性が高まっています。また、新型コロナ禍において外出自粛などにより在宅時間が長くなった結果、全国的にDV被害が増加しています。

里庄町でも、町民意識調査において約2割の方が被害経験があると回答しており、前回よりも増加しています。被害を受けた際に「どこ（誰）にも相談しなかった」の割合も年々増加傾向にあります。

暴力に関する正しい知識を町民全体に啓発することで、暴力を認識し、未然に防ぐ社会的な意識を醸成します。また、各関係機関との連携を強化し、被害者が相談しやすい相談体制の整備と周知を進め、被害の潜在化防止に努めます。

## 2 働く場における女性の活躍推進の取り組み

里庄町の女性の就業率は年々上昇しており、結婚・出産・子育て期に就業率が低下するM字カーブの谷は浅くなってきています。町民意識調査においても、女性が仕事を持つことについて「ずっと仕事を持っているほうがよい」と回答している割合は年々増加しています。一方で、職場における平等感については変化がみられず、2割程度にとどまっています。

女性活躍推進法の改正など、国でも女性の活躍推進については積極的に取り組みが行われています。こうした流れを踏まえ、里庄町でも女性が多様な働き方を選択することができるよう、女性の能力開発や就職支援、女性の登用を積極的に進めます。

また、働く場だけでなく地域活動や家庭においても男女共同参画の視点から取り組み、地域のつながりの中で男女がともに豊かな生活を送ることができる基盤づくりや、男性の家庭生活等への参画についても意識啓発や環境づくりを進めます。

## 3 ワーク・ライフ・バランス推進における取り組み

男女がともに互いを尊重しつつ個性と能力を発揮し、活力のある社会を築くためには、企業等において多様な人材を活用するとともに、仕事と家事・育児・介護のバランスを取ることが必要です。

里庄町では、男女がともにあらゆる分野に参画し、生涯にわたって心豊かな生活を送ることができるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた子育て・介護サービスの充実に取り組んできました。

一方で、近年は共働き世帯の増加や高齢者の就業率の上昇等により、子育てや介護におけるサービス利用のニーズは高まっており、制度・サポートが利用しやすい環境づくりに向けたさらなる取り組みが求められます。企業への働きかけや、男女がともに子育て・介護を担うための講座の充実等、啓発活動に努めます。